

第185回教育研究評議会<議事要録>

日時	令和2年11月16日(月) 14:00 ~ 15:30
場所	<TV会議により実施> 本部棟3階 特別会議室, 本部棟5階 大会議室, 医学部 第1会議室
出席者	服部学長, 藤田理事, 秋重理事, 荒瀬理事, 井川理事, 長澤理事, 肥後副学長, 出口副学長, 金山副学長, 丸橋法文学部長, 加藤教育学部長, 村瀬人間科学部長, 鬼形医学部長, 廣光総合理工学部長, 井藤生物資源科学部長, 田中評議員, 河添評議員, 山崎評議員, 石原評議員, 小俣評議員, 川向評議員, 河野評議員, 廣瀬評議員, 境評議員, 村川評議員, 杉江評議員, 松崎評議員
オブザーバー	千家監事
欠席者	武田副学長 〔陪席: 附属義務教育学校長, 企画部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 法文学部事務長, 教育学部・人間科学部事務長, 医学部事務部長, 自然科学系事務部長, 企画広報課長, 総務課長, 教育企画課長〕

議題1 島根大学学則の一部改正について

- 荒瀬理事から島根大学学則の一部改正について説明があり, 原案どおり議決された。

議題2 島根大学大学院学則の一部改正について

- 荒瀬理事から島根大学大学院学則の一部改正について説明があり, 原案どおり議決された。

議題3 ノートPCの必携化について

- 荒瀬理事からノートPCの必携化について説明があった。
- 小俣評議員からOSやCPUは定期的更新されるため次世代のOSやCPUでも問題ないことが分かるような記載をした方が良いのではないかとの意見があり, スペック数値の末尾に「以降」を付すこととし, その他の箇所については原案どおり議決された。

協議事項1 ガバナンス・コードに基づき策定する「ビジョン、目標及び戦略(案)」について

- 学長からガバナンス・コードに基づき策定する「ビジョン、目標及び戦略(案)」について説明があった。
- 松崎評議員から第4期中期目標期間に実施可能なものについて策定するのか質問があり, 学長から必ずしも中期目標期間と一致する必要はないが, 現実的な設定範囲として3年から5, 6年程度の期間を想定した策定を考えているとの回答があった。
- 松崎評議員から共通指標により国立大学が一律で評価される中では独自性が高い活動は評価されにくいと思われるが, どのように評価されることを想定して取り組むのか質問があり, 学長から独自性が高い活動がステークホルダーから支持されることで例えば入学希望者の増加や外部資金獲得の増加といった形で評価が表れることが想定されるとの回答があった。また, 補足として, 長澤理事から国立大学運営費交付金のうち「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の今後の見通しについて説明があった。
- 小俣評議員から全学生に対するSTEAM教育の実施について質問があり, 学長から学部によって求められるSTEAM教育が異なるため, どのような教育を実施するのかについて引き続き検討していくとの回答があった。
- 小俣評議員から学位プログラム毎のSTEAM人材像の確立について質問があり, 学長から各学部・学科のディプロマポリシーに則した学位プログラムに対応するSTEAM人材の

定義付けが必要であるとの回答があった。

- 小俣評議員からしまね産学官人材育成コンソーシアムについて県内の他の高等教育機関と足並みが揃わなければ上手く推進できないのではないかととの質問があり、学長からコンソーシアムを中心に地域が求める人材像等について議論していく方針で島根県とも調整していることから、他の高等教育機関に適切に働きかけ強固に連携し推進していくとの回答があった。
- 小俣評議員から島根まるごとキャンパス構想について質問があり、学長から島根県全体を学びの場として捉え、学生・教員が地域に出向き地域と一体となった教育を推進していく構想であるとの回答があった。
- 小俣評議員から地域貢献に携わる教員が適切に評価される体制を整備することが島根まるごとキャンパス構想のような事業を推進するために必要ではないかととの質問があり、学長から多岐に渡る教員の活動について教員評価が公平となるよう取り組んでいくとの回答があった。
- 出口副学長から【戦略】の記載内容について具体的な項目と抽象的な項目が混在しているが表現をどちらかに統一してはどうかとの質問があり、学長から最終的には【戦略】の欄には取組の内容を記載し【目標】の欄に具体的な数値目標を記載する形で整理する方向で検討しているとの回答があった。
- その他意見があれば企画広報課まで連絡するよう依頼があった。

協議事項2 STEAM 教育について

- 荒瀬理事から STEAM 教育への取組みについて説明があった。
- 学長から今後のスケジュールについて質問があり、荒瀬理事から今年度中に本学の STEAM 教育への対応方針について結論を出したいとの回答があった。
- 河野評議員から STEAM 教育について議論するにあたりダイバーシティの観点も取り入れて検討を進めて頂きたいとの意見があった。
- 松崎評議員から例えば特別入試を利用して学部を横断した教育を希望する学生を集めるなど本学独自の強みとして挙げることができるような施策として検討してはどうかとの意見があった。
- 出口副学長から STEAM 教育で挙げられている Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics の全てを各学部に取り入れるのは困難ではないかととの質問があり、学長から今後の検討によりこれからの時代に求められる人材像を定義することで STEAM 教育の各ファクターについてどのように教育していく必要があるのかが見えてくると考えているとの回答があった。
- 長澤理事から実社会の課題解決に繋がる俯瞰的な視点を養う教育を総合教育で展開し、加えて社会に通用する専門性を持った人材の育成が求められているのではないかととの意見があった。
- 松崎評議員から各学部での専門教育とそれを幅広く活用するための視野を広げる STEAM 教育を両立させることが必要であるとの意見があった。

報告事項1 人間社会科学研究科の設置承認について

- 荒瀬理事から人間社会科学研究科の設置承認について報告があった。

報告事項2 グローバル月間について

- 出口副学長からグローバル月間について報告があった。

報告事項3 令和2年度 防火・防災総合訓練について

- 長澤理事から令和2年度 防火・防災総合訓練について報告があった。

報告事項4 コンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）（R2.7.1～R2.9.30）の実施状況について

- 藤田理事からコンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）（R2.7.1～R2.9.30）の実施状況について報告があった。

報告事項5 公的研究費等の不正使用防止に係る不正使用防止教育（e-ラーニング）の受講状況について

- 長澤理事から公的研究費等の不正使用防止に係る不正使用防止教育（e-ラーニング）の受講状況について報告があった。

報告事項6 国際交流協定の締結について

報告事項7 教員の採用等について

- 報告事項6及び7は口頭での説明は省略された。